

地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成25年度 年度計画

目次

- 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 医療サービス
 - (1) 良質な医療の実践
 - (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
 - (3) 災害時等の対応
 - 2 患者サービス
 - (1) 患者サービスの向上
 - (2) ボランティアとの共働
 - 3 医療の質の向上
 - (1) 病院スタッフの確保と教育・研修
 - (2) 信頼される医療の実践
 - (3) 法令遵守と情報公開

- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実
 - 2 事務部門等の専門性の向上
 - 3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入

- 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置
 - 1 経営基盤の強化
 - (1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立
 - (2) 投資財源の確保
 - 2 収支改善
 - (1) 増収
 - (2) 費用削減
 - (3) 収支改善

- 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置
 - 1 新病院の整備及び運営に関する取組
 - 2 福岡市民病院における経営改善の推進

- 第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画
 - 1 予算（平成25年度）
 - 2 収支計画（平成25年度）
 - 3 資金計画（平成25年度）

- 第6 短期借入金の限度額
 - 1 限度額
 - 2 想定される短期借入金の発生事由

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

第8 剰余金の使途

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

- 1 施設及び設備に関する計画（平成25年度）
- 2 人事に関する計画

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 医療サービス

(1) 良質な医療の実践

こども病院・感染症センター及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。

ア こども病院・感染症センター

- 小児医療（高度・地域・救急）を担う小児総合医療施設として高い水準の医療機能を維持するため、平成24年11月に増床したICU2床の本格的な稼働を開始する。
- 新病院での医療機能の強化に向け、計画的な医療従事者の確保に努めるなど、新病院への円滑な移行準備を進める。
- 第一種・第二種感染症指定医療機関として、代替の医療機関が確保されるまでの間は、その役割を果たす。

【目標値】

指標	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
1人1日当たり入院単価（円）	100,367	100,000
1人1日当たり外来単価（円）	11,966	12,000
1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））	145.9 (76.8)	146.0 (76.8)
新規入院患者数（人）	4,899	4,890
平均在院日数（日）	9.9	10.9
1日当たり外来患者数（人）	276.7	267.0
手術件数（件）	2,212	2,170
救急搬送件数（件）	639	690

イ 新病院

- 平成26年11月開院予定

ウ 福岡市民病院

- 医療法で定められた医療計画における4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実に努めるとともに、救急部門の体制強化を図る。
- 福岡県からの依頼に基づく第二種感染症病床（4床）の受入及び救急部門の機能拡充等に向けた準備を進め、施設拡張工事に着手する。

【目標値】

指標	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
1 人 1 日当たり入院単価 (円)	57,617	62,000
1 人 1 日当たり外来単価 (円)	15,413	16,000
1 日当たり入院患者数 (人) (病床利用率 (%))	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)
新規入院患者数 (人)	4,386	4,600
平均在院日数 (日)	12.6	12.1
1 日当たり外来患者数 (人)	236.5	247.0
手術件数 (件)	2,619	2,650
救急搬送件数 (件)	2,323	2,400

(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進

ア こども病院・感染症センター

- 小児医療の基幹病院及び地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院として病病・病診連携を推進するとともに、症状の安定した患者については、積極的に地域の医療機関に逆紹介する。
- 開放型病床への登録医の増加を図るとともに、地域の医療機関への広報等の充実、オープンカンファレンスの利用促進に取り組むなど更なる連携強化を図る。

イ 福岡市民病院

- 地域医療連携室の機能強化を図るとともに、積極的に近隣の医療機関への訪問等を実施し、病病・病診連携に努め、紹介率、逆紹介率の向上を図る。
- 地域医療支援病院が果たす役割として、「かかりつけ医」等を支援し、地域医療を確保するため、紹介患者に対する最適な医療の提供や医療機器等の共同利用を促進するとともに、地域の医療従事者に対する研修を継続して行う。

【目標値】

指標		こども病院・感染症センター	
		平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
紹介率 (%)		85.3	86.0
逆紹介率 (%)		25.7	27.5
オープンカンファレンス	回数 (回)	33	30
	参加者数 (人)	1,017	1,000
開放型病床への登録医数 (人)		111	150

指標	福岡市民病院	
	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
紹介率 (%)	79.9	80.0
逆紹介率 (%)	74.2	82.0
オープンカンファレンス	回数 (回)	30
	参加者数 (人)	1,104
開放型病床への登録医数 (人)	127	133

(3) 災害時等の対応

- 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画等に基づく適切な対応が行えるよう体制を整えるとともに、院内防災マニュアルの整備や防災訓練の実施、非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。
- 他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、医師や看護師等医療スタッフの派遣など医療救護活動の支援に努める。
特に、福岡市民病院においては、九州各県の主要な医療機関との間で災害支援協定を締結し、災害発生時における医療班の派遣や薬剤の提供等による相互支援体制を構築することとしており、これらに迅速に対応できるよう院内に災害時派遣医療班を組織する。

2 患者サービス

(1) 患者サービスの向上

ア こども病院・感染症センター

- 患者のニーズを的確に把握するため、今後も患者満足度調査を実施するとともに、院内の専門委員会において、その調査結果に基づく対応策の検討を行い、より一層の患者サービスの向上を図る。
- 地域医療連携室における医療・福祉相談を充実させ、保健福祉行政機関とも連携しながら、各事案に適切に対応する。
- 院内環境の整備については、新病院への移転も踏まえつつ、可能な限りきめ細やかな対応に努める。

イ 福岡市民病院

- 入院患者へのサービス向上として、診療結果や職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査を実施し、その結果を踏まえながら、より一層のサービス向上を図る。
また、入院ベッドの老朽化に対処するため、計画的に更新する。
- 外来患者へのサービス向上として、総合窓口の機能充実を図り、きめ細かいサービスを提供するとともに、外来待合室における放送モニターの見直しを行う。

また、総合受付の再編を行い、患者動線を見直すことで、患者の利便性の向上を図る。

【目標値】

指標	こども病院・感染症センター	
	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
退院時アンケートの平均評価点数 (100点満点)	88.0	88.0

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容等

指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成25年度 目標値
患者満足度調査における平均評価点数 (100点満点)	76.0	80.0

※対象者・・・入院患者

※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容，診療内容等

(2) ボランティアとの共働

ア こども病院・感染症センター

- ボランティアとの共働による、植栽等の構内環境の整備や院内コンサートの実施などに取り組むとともに、入院中の子ども達への「本の読み聞かせ」の実施など病棟ボランティア活動の拡大に努める。

イ 福岡市民病院

- 大学サークル等に積極的に出演交渉し、院内コンサートの回数を増やすとともに、患者対応の院内ボランティア（現在2名）を幅広く募集し、登録者の拡大を図る。

3 医療の質の向上

(1) 病院スタッフの確保と教育・研修

ア こども病院・感染症センター

- 医師が診療に専念しやすいよう、医師にかかる事務処理の負担軽減策を強化するとともに、看護師については、病棟における2交代制勤務の試行を拡充するなど、職員が働きやすい環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。
- 院内研修については、外部講師の活用等による内容の充実を図るとともに、できるだけ多くの職員が受講できるよう、実施回数の拡大に努める。
- スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、積極的に職員に資格取得を奨励する。また、認定看護師等資格取得支援制度を活用し、有資格者の拡大を図る。

イ 福岡市民病院

- 認定看護師等資格取得支援制度を活用し、糖尿病や脳卒中等の専門領域における認定看護師を養成する。また、他の職種についても専門職としての知識・技術の向上を図るため、積極的に資格取得を支援し、質の高いチーム医療を提供する。
- 看護師及び事務職員を対象に、厚生労働省の成長分野等人材育成支援事業を活用し、「医療現場における医療安全管理技術向上研修」を実施する。
- 感染症病床の稼働に向け、職員に対する感染症対策の教育研修を実施し、防護技術の向上を図る。

(2) 信頼される医療の実践

ア こども病院・感染症センター

- 感染対策室を設置し、専従の感染管理認定看護師を配置するとともに、診療報酬上の感染防止対策加算1及び感染防止対策地域連携加算が取得できる体制を整備し、感染防止対策の強化を図る。また、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。
- クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。
- 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。

イ 福岡市民病院

- 最新の医学的根拠を基に院内感染防止対策マニュアルの改訂を適宜行い、院内感染防止対策の徹底を行うとともに、感染防止対策の実施施設認定医療機関との連携強化を図り、情報の共有化を行う。
- 医療情報の収集・分析を容易にするため、診療支援システムを導入し、その情報を有効に活用することで、より一層の安全・安心な医療の提供に努める。
- クリニカルパスを活用した事前説明などの内容を更に充実させるとともに、新規パスの策定を進める。
- 患者説明用の様式を全面的に見直すなどの工夫改善に取り組み、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントの徹底を図る。
- 薬剤管理指導業務や病棟薬剤業務の実施体制を強化し、更なる質の向上を図る。
- 栄養食事指導の対象を、糖尿病以外の疾患まで拡大し、その充実を図る。

【目標値】

指標	こども病院・感染症センター	
	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
薬剤管理指導件数 (件)	3,369	3,400
栄養食事指導・相談件数 (件)	278	300

指標	福岡市民病院	
	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
薬剤管理指導件数 (件)	8,644	8,600
栄養食事指導・相談件数 (件)	1,047	1,050

(3) 法令遵守と情報公開

- 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、内部統制を確実に実施することにより、適正な病院運営を行う。
- 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底する。
- 法人の経営状況、新病院を含めた各病院の役割や医療内容のほか、地域の医療機関との連携等について、ホームページや広報誌等を通じ、積極的な情報発信に取り組み、市民に開かれた病院づくりを進める。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

- 理事会を適正に運営し、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。
- 医療情勢の変化や患者のニーズに効果的な対応ができるよう、病院長のリーダーシップの下、各病院の実態に即した機動性の高い病院経営を行う。

2 事務部門等の専門性の向上

- 病院経営に関する知識・経験を有する人材をプロパー職員として計画的に採用し、事務部門及び経営管理部門の専門性の向上を図る。
- 病院経営に関する研修やOJT（On the Job Training）の充実を図り、経営感覚に優れた職員の育成に努める。
また、両病院、本部事務局間の人事異動を積極的に行い、事務部門、経営管理部門の更なる活性化による専門性の向上を図る。

3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入

- 平成24年度に実施した職員満足度調査の結果を踏まえ、職員のニーズに対応した福利厚生の実施や職場環境の改善に努めるとともに、職員の意欲を引き出す人事制度を構築する。
- 病院の業績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合した給与制度を維持し、人件費の適正化を図る。
- 平成23年度から試行中の医師を対象とした人事評価制度については、その効果等を検証し、本格導入に向けた準備を進める。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化

(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立

- 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤を確立するため、不採算医療部門については、収支差の圧縮に向け、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。

また、部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する。

(2) 投資財源の確保

- 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の施設整備や高額医療機器の更新等に関する計画を踏まえた自己財源の確保に努める。

2 収支改善

(1) 増収

ア こども病院・感染症センター

- 平成24年11月に増床したICU2床の本格的な稼働を開始するとともに、各病棟においてより一層の効率的なベットコントロールに努め、収入増を図る。

また、治験業務について、小児治験ネットワークへの積極的な参加を推進し、治験収入の増に努める。

- 感染管理認定看護師を配置した感染対策室を新設し、感染防止対策加算1及び感染防止対策地域連携加算の施設基準を取得する。
- レセプトチェックシステムを最大限に活用し、医師との情報共有及び連携強化によって診療報酬請求の精度向上を図る。

また、医療ソーシャルワーカーによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、未収金に対しては、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の活用等により確実な回収を図る。

イ 福岡市民病院

- 手術室の体制整備により、難易度や専門性の高い手術件数の増加を図る。
- がん患者の手術件数増加に伴い、がん患者に対するリハビリテーション機能の強化・充実を図る。
- 紹介率向上のため、地域医療連携の強化・充実を図り、新規入院患者数の増加を目指す。

- 救急部門の医師や看護師を増員し、救急搬送受入件数の増加を目指す。
- 地域医療支援病院として、開放型病床の更なる利用促進を図るとともに、回復期リハビリテーション病院との共同診療の推進により、効率的な病床管理や高度医療機器の稼働率の向上を図る。
- 認定看護師の配置や医師事務作業補助者の増員等により、呼吸ケアチーム加算及び褥瘡ハイリスク患者ケア加算の施設基準を取得し増収を図る。
- 診療情報システムやレセプト点検システムの活用による、請求漏れ診療費の把握や査定減防止のためのレセプト点検を強化し、診療報酬の適正化を図る。
- 医療ソーシャルワーカーによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、未収金に対しては、電話、文書による督促や個別相談及び少額訴訟の活用等により確実な回収を図る。

【目標値】《再掲》

指標	こども病院・感染症センター	
	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
1 人 1 日 当 たり 入 院 単 価 (円)	100,367	100,000
1 人 1 日 当 たり 外 来 単 価 (円)	11,966	12,000
1 日 当 たり 入 院 患 者 数 (人) (病床利用率 (%))	145.9 (76.8)	146.0 (76.8)
新規入院患者数 (人)	4,899	4,890
平均在院日数 (日)	9.9	10.9
1 日 当 たり 外 来 患 者 数 (人)	276.7	267.0
手術件数 (件)	2,212	2,170
救急搬送件数 (件)	639	690

指標	福岡市民病院	
	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
1 人 1 日 当 たり 入 院 単 価 (円)	57,617	62,000
1 人 1 日 当 たり 外 来 単 価 (円)	15,413	16,000
1 日 当 たり 入 院 患 者 数 (人) (病床利用率 (%))	186.0 (93.0)	184.0 (92.0)
新規入院患者数 (人)	4,386	4,600
平均在院日数 (日)	12.6	12.1
1 日 当 たり 外 来 患 者 数 (人)	236.5	247.0
手術件数 (件)	2,619	2,650
救急搬送件数 (件)	2,323	2,400

(2) 費用削減

- コストパフォーマンスを考慮した診療材料の選定や診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底，契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い，費用の削減を図る。
- 施設・設備のアセットマネジメントを推進するとともに，省エネ対策への更なる取組により，維持修理に係る費用の削減を図る。
- 新病院で必要となる医療機器や医療情報システムの調達にあたっては，機種を選定や契約方法等を工夫するとともに，価格交渉を徹底し，購入費用の削減を図る。

【目標値】

(単位：%)

指標	こども病院・感染症センター	
	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
給与費対医業収益比率	56.0	58.7
材料費対医業収益比率	18.6	19.2
うち薬品費対医業収益比率	6.6	6.9
うち診療材料費対医業収益比率	11.5	12.1
委託費対医業収益比率	6.1	8.3
ジェネリック医薬品導入率	6.8	7.0

指標	福岡市民病院	
	平成 23 年度 実績値	平成 25 年度 目標値
給与費対医業収益比率	53.9	55.4
材料費対医業収益比率	25.4	24.2
うち薬品費対医業収益比率	9.0	8.6
うち診療材料費対医業収益比率	16.3	15.5
委託費対医業収益比率	7.4	7.4
ジェネリック医薬品導入率	22.8	26.0

(3) 収支改善

- 増収対策及び費用削減の取組を徹底し，純利益の確保に努める。

【目標値】

(単位：%)

指標	こども病院・感染症センター	
	平成23年度 実績値	平成 25 年度 目標値
総収支比率	110.3	103.8
経常収支比率	110.9	104.2
医業収支比率	92.9	89.0

指標	福岡市民病院	
	平成23年度 実績値	平成 25 年度 目標値
総収支比率	114.9	108.4
経常収支比率	115.4	109.3
医業収支比率	100.7	98.5

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 新病院の整備及び運営に関する取組

- 新病院の整備については、建設中の施工確認を適切に行うとともに、株式会社 FCH パートナーズとの連携強化を図りながら、院内に設置の新病院準備委員会や各運営検討会等の開催を通じて、施設に応じた運営計画や防災計画の検討を進めるなど、開院に向けた準備を着実に進めていく。
- 新病院に関する情報発信については、市民に親しまれる病院づくりを推進するため、市民や医療関係者等に対し、新病院の概要や医療機能の拡充内容などを、ホームページや広報誌等を利用し、積極的に情報発信する。
- 平成26年11月の開院に向け、計画的に医療従事者を確保していく。
- 小児医療、周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ、新病院が求められる役割を果たすために必要な病床の確保などの適切な対応に努める。

2 福岡市民病院における経営改善の推進

- 市立病院として求められる役割を果たすため、引き続き高度専門医療、高度救急医療を提供するとともに、第二種感染症病床（4床）の設置や救急部門の機能拡充に向け、施設の拡張工事に着手する。
- 引き続き経営の効率化を図り、医業収支の更なる改善に努める。

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（平成25年度）

（単位：百万円）

区 分		金 額
収入		
営業収益		12,423
医業収益		11,333
運営費負担金収益		1,049
補助金収益		38
寄付金収益		2
営業外収益		190
運営費負担金収益		112
その他営業外収益		78
資本収入		1,002
長期借入金		1,002
その他の収入		0
計		13,615
支出		
営業費用		11,125
医業費用		10,949
給与費		6,552
材料費		2,535
経費		1,786
資産減耗費		1
研究研修費		75
一般管理費		176
給与費		103
経費		72
営業外費用		198
資本支出		1,897
建設改良費		1,179
給与費		101
その他		1,078
償還金		718
その他の支出		47
計		13,267

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。

[人件費の見積り]

期間中総額6,756百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。

[運営費負担金の繰出基準等]

高度・小児医療等の不採算経費及び救急医療の確保に要する経費等については、毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金等については、経常費助成のための運営費負担金とする

2 収支計画（平成25年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収益の部	13,335
営業収益	13,145
医業収益	11,333
運営費負担金収益	1,049
補助金収益	38
寄付金収益	2
資産見返負債戻入※	722
営業外収益	190
運営費負担金収益	112
その他営業外収益	78
臨時利益	0
費用の部	12,635
営業費用	12,362
医業費用	12,185
給与費	6,477
材料費	2,535
経費	1,789
減価償却費	1,308
資産減耗費	1
研究研修費	75
一般管理費	177
営業外費用	198
臨時損失	75
純利益	701
目的積立金取崩額	0
総利益	701

（注1）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

（注2）減価償却費 1,308 百万円は、※印の資産見返負債戻入相当額 722 百万円を含む。

3 資金計画（平成25年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
資金収入	15,106
業務活動による収入	12,613
診療業務による収入	11,333
運営費負担金による収入	1,162
その他の業務活動による収入	118
投資活動による収入	0
運営費負担金による収入	0
その他の投資活動による収入	0
財務活動による収入	1,002
長期借入れによる収入	1,002
その他の財務活動による収入	0
前期中期目標の期間からの繰越金	1,491
資金支出	15,106
業務活動による支出	11,471
給与費支出	6,756
材料費支出	2,535
その他の業務活動による支出	2,179
投資活動による支出	1,078
有形固定資産の取得による支出	1,078
その他の投資活動による支出	0
財務活動による支出	718
長期借入金の返済による支出	201
移行前地方債償還債務の償還による支出	517
その他の財務活動による支出	0
翌事業年度への繰越金	1,839

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

第6 短期借入金の限度額

1 限度額

2, 0 0 0 百万円

2 想定される短期借入金の発生事由

ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応

イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応

第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

なし

第8 剰余金の使途

決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

1 施設及び設備に関する計画（平成25年度）

（単位：百万円）

施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設，医療機器等整備	1, 181	福岡市長期借入金等

2 人事に関する計画

職員の意欲を引き出す人事制度の構築や教育・研修体制の充実等に取り組む。

また，職員の能力や適性等に応じた適材適所の人事配置や有期職員の活用等により，効果的・効率的な組織運営を推進する。